
「一人前 チェックリスト」で新人教育

製造現場の新人教育にチェックリストを取り入れ、
新人教育の安定化、向上化、平均化を図る

製造部 オフセット課 調色室 小谷野 洋

はじめに

生産年齢人口の減少が進む中、慢性的な人手不足が深刻な経営課題になっている企業は多く、各企業は人員確保のため、初任給、福利厚生、雇用条件などを見直すこと

で差別化を図り、売り手市場に対応することが予想され、中小企業さらには製造業の

人員確保は、今後益々難しくなっていくことが予想されます。

その人員確保に付随して重要なのが、新人教育です。

せっかく新人が入ってきても、配属先で OJT がうまくできず、期待したように育たない、辞めてしまう…これでは会社の未来が危ぶまれます。

せっかく入ってきた貴重な新人に適切な教育を行い、クラウンに貢献できる社員になつてもらうよう、準備、環境整備が必要かと思います。

製造現場の OJT の現状

現状、新人教育は現場作業者に**丸投げ**になっているように思います。

新人教育を任された現場作業者は、OJT の負担が増えても生産は落とさずに仕事
をこなすため、**教育は二の次、放置になりやすい。**

新人教育を任された現場作業者に、**教えるスキル、経験が足りない。**

「自分でその仕事ができること」と、
「人にその仕事を教えられること」は、別のスキルです。

製造職の人間は「職人気質」が強い傾向にあります。どちらかというと、ゼネラ
リストより、スペシャリストが多く、**コミュニケーションが苦手**、口下手、口が
悪い、横柄、せっかち…な傾向があります。

結果、新人教育を任された現場作業者は、忙しい中で、どう教えて良いか分から
ない中で、**自己流の教育**を行っています。人によって、場合によって、感情的に
対処してしまう、**怒鳴ってしまう**…そんな場面も目にします。
見ていてとてもつらいです…

このままでは・・・

このままでは、新人が期待したように育つことは難しく、

特に、覚えの遅い人、気の優しい人などはついていけず、

やる気をなくしてしまうかもしれません。辞めてしまうかもしません。

どうすれば・・・

現場作業者に任せず、教育専門の担当者を用意すれば良い？

…全体研修（OFF JT）なら可能ですが、各配属先の OJT でそれは無理です。

現場作業者に、教育に必要なスキルを求める？

…製造職の人間は「職人気質」が強い傾向にあります。すべての現場作業者に、

教育に必要なスキルを求めるることは現実的ではありません。

提 案

各現場、作業ごとに、新人に習得してほしい内容をリストアップし、

そのリストに沿って OJT を行ってはどうでしょうか？

チェックリストを取り入れると…①

イメージ1

あなたは上司から何か書かれた紙をひたすら受け取ります。あなたは書かれた内容がまだよく理解できず、受け取った紙を一つのケースにひたすらしまっていきます。前に入れた紙の上にひたすら重ねていきます。たまに上司が「この前渡した〇〇の紙どうした？」と聞いてきます。内容もよく分かってない上、積み重なった紙の中から、あなたは目的の紙が見つけられず、叱られます。1年経つて、ようやく内容が分かってきたので、ケースに積み重なった紙を棚にしまい直します。自分で項目ごと、重要度ごとに棚を分類し、それぞれの棚にしまいます…

イメージ2

今度は最初から棚があります。棚は項目ごと、重要度ごとにすでに分類されています。あなたは上司から何か書かれた紙を受け取って、内容ごとに棚にしまっていきます。たまに上司が、「この前渡した〇〇の紙どうした？」と聞いてきます。あなたは分類された棚の中から目的の紙を見つけ、上司に渡します…

新人は何が分からないかも分からない状態でスタートします。「イメージ1」のような状況ではないでしょうか？私はそうでした。それがチェックリストを最初に受け取ることで、「イメージ2」のように、求められていること、覚えることの全体像が把握でき、**教わることを最初から整理して記憶できるようになる**と思います。

チェックリストを取り入れると…②

教える側もチェックリストがあることで**教育のスキル不足、経験不足をカバーできる**ようになると思います。

「これまだ教えてないな」「これがまだできてないな」など、伝えるべきこと、教えることが、可視化され、感情的に対処してしまうなどは減るのではないか。

チェックリストを取り入れると…③

新人の「できることできないこと」「覚えたこと覚えてないこと」が可視化され、上長はそれに沿って、教える側、教わる側双方に**適切なアドバイスができる**と思います。

チェックリストを取り入れると…④

現場ごとの教える側のスキル差による**教育の不平等が減る**と思います。

チェックリストを取り入れると…⑤

評価を5段階などもっと細かくし、研修期間後も継続することで、新人だけでなく全員に流用でき、**評価に使うこともできます**。他者との相対比較もできます。

チェックリストの使い方

例えば 1~2 週間ごとに 3 カ月間、提出させ、新人、教育担当それぞれと上長で個別に面談し、チェックリストをもとにそれぞれにアドバイスする。

教える側には事前に補足が必要です

4 段階職業指導法（Show・Tell・Do・Check）などのテクニック紹介

新人教育が会社にとって中長期的にとても重要なこと

新人教育がうまくいかない場合、大きな損失になること

新人教育がうまくいった場合、教育担当の評価につながること

場合により、生産より教育を優先すること

チェックリストをベースに教えること

…等々

チェックリストのサンプル（調色バージョン）を添付します

このリストの内容を制覇すれば「一人前」という意味を込めて、

「一人前チェックリスト」とネーミングしてみました。

ご査収の程、よろしくお願ひいたします。

SAMPLE

一人前 チェックリスト

製造部・オフセット課・調色室

2023/8/20作成

新人

教育担当

記入日

年 月 日

基　本		自己評価 ○△×	担当評価 ○△×
自己管理	法令を遵守した行動ができる		
	常にベストな状態で仕事に臨めるよう、体調管理ができる		
	多少のストレスならセルフマネジメントして仕事ができる		
	過度のストレスは抱え込みず、他者に相談できる		
	時間を守れる		
	清潔な身だしなみができる		
安全管理	自他の心身の安全衛生を第一とした行動ができる		
	環境に配慮した行動ができる		
情報管理	顧客情報、社外秘情報を社外に漏洩させない		
品質管理	品質に問題のあるモノを後工程に流出させない		
生産管理	時間、効率、歩留り、コストを意識した仕事ができる		
コミュニケーション協調性	思いやりを持って人と接することができる		
	自分の意思を人に伝えることができる		
	職場のルール、マナーを守れる		
	適切な言葉遣い、声量、表情、態度で、挨拶ができる		
	指示内容を理解することができる		
	分からることは分からないと見える		
	報連相ができる		
	チームワークを意識した作業ができる		
仕事に取り組む姿勢	先輩の動きをよく観察し、仕事を早く習得しようと心がけられる		
	受け身にならず、積極的に仕事に取り組むことができる		
	ミスを隠さない、嘘をつかない、サボらない		
	丁寧な仕事ができる		
	決められた手順を遵守した作業ができる		
	注意等を素直に聞き入れられる、反省ができる		
	仕事を選り好みしない		
	与えられた仕事は責任を持ってやり遂げることができる		
	先を読んだ行動ができる		
	工夫や改善を行うことができる		
	自ら目標を設定し、成長し続けることができる		

SAMPLE

一人前 チェックリスト

製造部・オフセット課・調色室

2023/8/20作成

実務		自己評価 ○△×	担当評価 ○△×
3S	調色室の整理整頓清掃ができる		
道具・機材・消耗品等の取り扱い	原稿袋を適切に取り扱うことができる		
	ヘラを安全に適切に取り扱うことができる		
	インキ類を安全に適切に無駄なく取り扱うことができる		
	はかりを適切に取り扱うことができる		
	有機溶剤を安全に適切に無駄なく取り扱うことができる		
	ウエスを適切に無駄なく取り扱うことができる		
	攪拌機を安全に適切に取り扱うことができる		
	保護具を適切に無駄なく取り扱うことができる		
	ドライヤーを安全に適切に取り扱うことができる		
	展色機を安全に適切に取り扱うことができる		
インキ等の在庫管理	UVランプを安全に適切に取り扱うことができる		
	インキ等の種類、置き場、適正在庫を把握できる		
	印刷予定からインキ等の消費量を把握できる		
	消費量から発注量を算出し、業者ごとに適切に発注できる		
	入荷したインキ等を所定の置き場に片づけられる		
	新たに追加されたインキ等の配置ができる		
原稿袋の用意	古いインキ等の要不要の判断、廃棄ができる		
	印刷予定からリピート受注の原稿袋を用意できる		
	印刷予定から新規受注の原稿袋を用意できる		
	印刷機ごとに原稿袋を出すことができる		
	印刷を終えた原稿袋を回収することができる		
	回収した原稿袋を棚に片づけられる		
特色インキの用意 (リピート)	不要になった原稿袋の処分ができる		
	印刷予定からリピート受注の特色の有無、印刷日、印刷機、数量等を把握できる		
	特色インキの使用量を算出し、適切に用意できる		
	印刷機ごとに特色インキを出すことができる		
	印刷を終えた特色インキを棚に片づけられる		
特色インキの用意 (新規)	古い特色インキの要不要の判断、廃棄ができる		
	印刷予定から新規受注の特色の有無、印刷日、印刷機、数量等を把握できる		
	適切な紙、インキを選択し、指示通りの色を再現できる		
	必要に応じて印刷機で適切に色直しができる		